

2023年度 法科大学院

第5期入学試験問題

1 時限

憲法

(論文式)

試験時間 50 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[憲法]

日本国憲法第22条第1項が保障する「職業選択の自由」の意義と内容につき、最高裁判所の判例及び学説の説くところを説明しなさい。また、職業選択の自由に対する規制の合憲性は、その規制目的や規制の態様の違いに応じて、どのような基準により判定されるべきか、という問題につき、関連する代表的な最高裁判所判決を挙げ、①その事案の概要、②同判決が採用した判断基準、及び③問題となった規制についての具体的判断を記したうえで、当該判決についての学説の解説も参照して、検討を行いなさい。